

DAITO
BL
シリーズ
COMICS



高木なほ

家の主人

RIFYU YAMAKAMI eses

Copyright © 2013 by RIFYU YAMAKAMI

やまかみ梨由



恋は
日常

作家の

やまかみ梨由

目次

第1話 …… 003

第2話 …… 035

第3話 …… 067

第4話 …… 099

あとがき …… 131

第 1 話



じゃあな
そろそろ帰るよ

たまには
泊まっていけば
いいのに

はじめが
つかないから
嫌だ

何のけじめだよ

オレはなしくずしって
いうのが嫌いなんだ

お前とつきあい始めた
のがそもそも
なしくずしだったから
余計にね

七生と出会ったのは
高校の時だ

綺麗な顔して
クソ真面目な性格の
ギャップに惹かれて

オレに興味がないのを
拝み倒すように口説いた

なのでオレの立場は
少々弱い

お前だってバ切があるだろう
ほらあの——
少年少女向け
娯楽小説の

ライトノベルと
言ってくれ

そうそれ

御心配なく

お前がいる方が
創作意欲は
倍増するからな

何てったって

どの作品も
オレの書く
ヒロインは
お前がモデル
なんだから♡

ほんとに
ふざけた
男だお前は！

じゃあな！

今度いつ
会える？

気が
向いたら！

10年だってもつれない君

いつそ
透明人間になって
このままついて
いけたら…

なーんてな



そうすれば
普段見せてくれない
お前の私生活を
思う存分のぞき見る
ことが出来る

そーですねえ
次の新作のネタ
なんですけど

好きなだけ
つきまとって
四六時中ながめて
いられる



透明人間なんて
どうでしょう

主人公が透明に
なってヒロインの
私生活をのぞき見
するコメディですよ

ごっそり愛撫したり
匂いをかいだり
好きなごとし放題



バカバカしいと
思いつつ
そんな願望を
作品にぶつけて
みようかと

タイトルは
何にするかな

ありがちだけど
「僕が透明人間に
なった理由」

とかね

さて

執筆を始めた次の日



ん！…
よく寝た

たっぷり寝た
せいか身体が
軽い気がする

朝メシ何に
するかなー

一人だと作るの
めんどくさいし
なあ

七生が泊まって
いってくれれば
腕もふるうのにさ

……って

…アレ？

オレ…透明？

もし水して

どうやら夢では
ない 모양

何か悪いもの
でも食べたかな

オレの血縁に
透明な奴なんて
いないし

いや待てよ

細かいことは
どうでもいい

要はオレの願望が
かなったということ
じゃないか!

くわっ

ならばオレの
取る行動は
ただひとつ

?

誰も
いない…

いと
愛しい恋人の
もとへっ!!!

ピンポンダツシユか?
迷惑な…

すまじ

やった！
潜入成功！！

さすがにマップで
電車に乗ったのは
冷や汗ものだったが

ついにオレの野望が
かなう時が来たんだ

ていうか
久しぶりだなー
七生の部屋

恋人だつてのにろくに
入れてくれないもんな

ギム

スル

えええっ

あー
七生の匂いが
つまっている

すは

すは

あ…トイレか
びっくりした
バレたかと…

10
分

てことは七生は
かはんしんめい
家では下半身を脱いで
ようたはは
用を足す派なのか？

初めて知った
いがいじつた
意外な実態！

これこれ
こういうのを
知りたかったんだ

次はトイレの中に
いっしょに入っちゃろう

あー
楽しい！

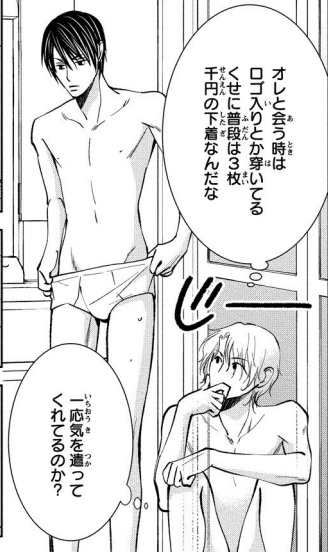
ふむふむ七生は
あか
洗い始めるのは
さだめ
左腕からか

ザ
ザ
ザ



まだ11時だぞ
もう寝るのか？

じいさんかよ！



おしと会う時は
ロコ入りとか穿いてる
くせに普段は3枚
千円の下着なんだな

ヾ



…まあ昔から
きつちりした
奴だったから
なあ

一応気を遣って
くれてるのか？



でも今は
こんなことも
し放題♪

なんせ透明
だもんね！♥

ちゅ



…寝顔なんて拝むの
何年ぶりだろ

あー可愛い

寝顔が可愛くて
一晩中見てたついたら
次から泊まっていつて
くれなくなつたっけ

